

# Dell EMC PowerEdge T140

## 仕様詳細

## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 2019 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<b>1 Dell EMC PowerEdge T140 システムの概要</b> .....	<b>4</b>
システムの前面図.....	5
システムの背面図.....	6
<b>2 技術仕様</b> .....	<b>7</b>
シャーシ寸法.....	7
システムの重量.....	8
プロセッサの仕様.....	8
PSU の仕様.....	8
冷却ファンの仕様.....	8
システム バッテリーの仕様.....	9
拡張カードの仕様.....	9
メモリの仕様.....	9
ストレージコントローラの仕様.....	9
ドライブの仕様.....	9
ドライブ.....	9
オプティカルドライブ.....	10
ポートおよびコネクタの仕様.....	10
USB ポートの仕様.....	10
USB ポートの仕様.....	10
シリアル ネクタの仕様.....	10
VGA ポートの仕様.....	10
ビデオの仕様.....	10
環境仕様.....	11
標準動作温度.....	12
動作時の拡張温度.....	12
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	12
温度に関する制限のマトリックス.....	13
<b>3 システム診断とインジケータ コード</b> .....	<b>14</b>
システム正常性とシステム ID インジケータコード.....	14
NIC インジケータコード.....	14
非冗長ケーブル接続式電源装置ユニットのインジケータ コード.....	15
PowerEdge T140 システムの診断.....	15
Dell 組み込み型システム診断.....	16
<b>4 困ったときは</b> .....	<b>17</b>
リサイクルまたはサービス終了の情報.....	17
デルへのお問い合わせ.....	17
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	17
Dell EMC PowerEdge T140 システム用 Quick Resource Locator.....	18
SupportAssist による自動サポートの利用.....	18
<b>5 安全にお使いいただくために</b> .....	<b>19</b>

# Dell EMC PowerEdge T140 システムの概要

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、以下をサポートするタワーサーバーです。

- ・ Intel Xeon、Core i3、Pentium、Celeron プロセッサ 1 台
- ・ DIMM スロット (4)
- ・ ケーブル接続式 AC 電源供給ユニット
- ・ 最大 4 台の 3.5 インチのケーブル接続式 SAS または SATA ドライブ

詳細については、「[仕様詳細](#)」の項を参照してください。

**① メモ:** SAS、SATA ドライブおよび SSD のすべてのインスタンスは、特に指定のない限り、本文書内ではドライブと呼ばれます。

トピック：

- ・ [システムの前面図](#)
- ・ [システムの背面図](#)

# システムの前面図



図 1. システムの前面図

- |                   |                               |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 電源ボタン          | 2. システムの正常性と ID インジケータ        |
| 3. USB 3.0 ポート    | 4. iDRAC Direct micro USB ポート |
| 5. 光学ドライブ (オプション) |                               |

ポートの詳細については、「[ポートとコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

## システムの背面図

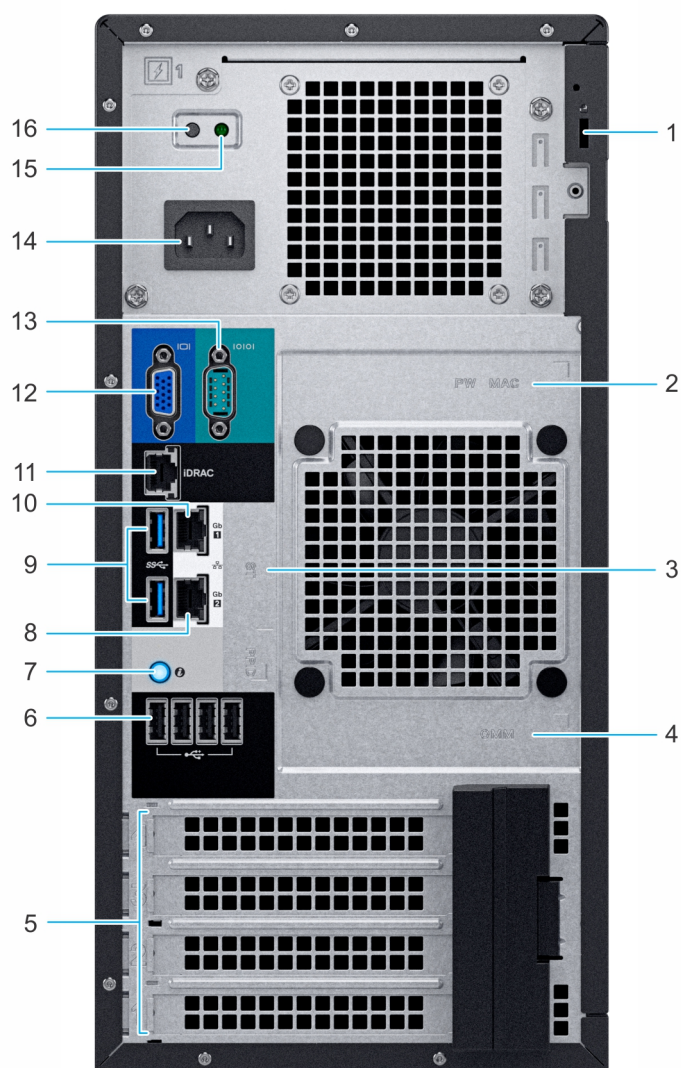


図 2. システムの背面図

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. セキュリティケーブルロック                 | 2. iDRAC MAC アドレスと iDRAC セキュア パスワード ラベル |
| 3. サービスタグ、エクスプレス サービス コード、QR ラベル | 4. OpenManage Mobile ( OMM ) ラベル        |
| 5. PCIe 拡張カードスロット ( 4 )          | 6. 4 x USB 2.0 ポート                      |
| 7. システム識別ボタン                     | 8. NIC ポート ( Gb 2 )                     |
| 9. USB 3.0 ポート ( 2 )             | 10. NIC ポート ( Gb 1 )                    |
| 11. iDRAC 専用 NIC ポート             | 12. VGA ポート                             |
| 13. シリアルポート                      | 14. 電源装置ユニット                            |
| 15. PSU 内蔵セルフ テスト ( BIST ) LED   | 16. PSU 内蔵セルフ テスト ( BIST ) ボタン          |

① | **メモ:** ポートとコネクタの詳細については、「[ポートおよびコネクタの仕様](#)」の項を参照してください。

## 技術仕様

本項では、お使いのシステムの技術仕様と環境仕様の概要を示します。

トピック：

- ・ シャーシ寸法
- ・ システムの重量
- ・ プロセッサの仕様
- ・ PSU の仕様
- ・ 冷却ファンの仕様
- ・ システム バッテリーの仕様
- ・ 拡張カードの仕様
- ・ メモリの仕様
- ・ ストレージコントローラの仕様
- ・ ドライブの仕様
- ・ ポートおよびコネクタの仕様
- ・ ビデオの仕様
- ・ 環境仕様

### シャーシ寸法

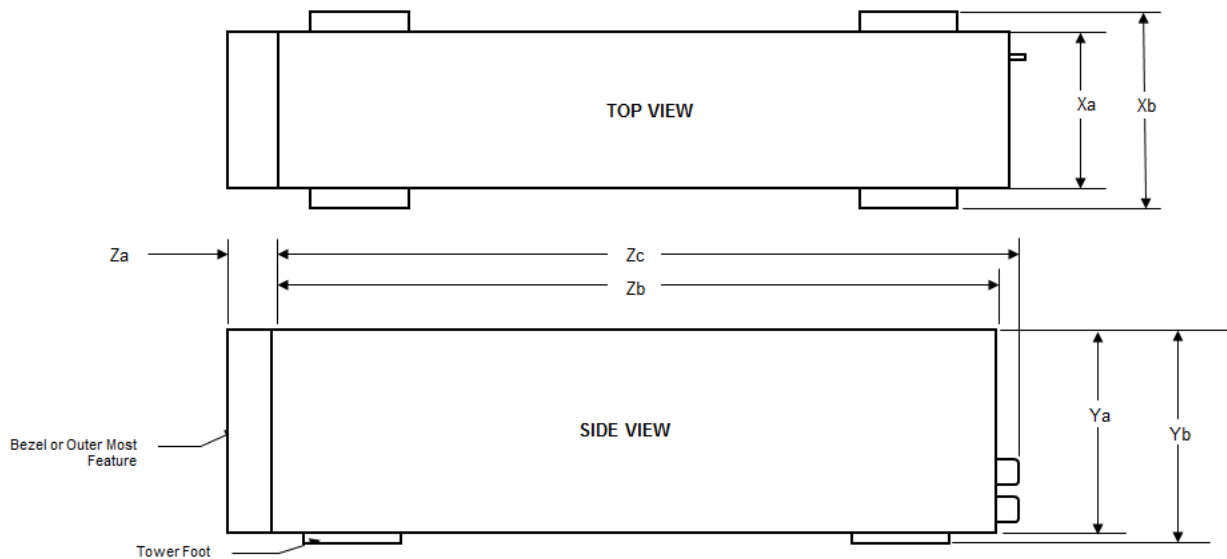


図 3. シャーシ寸法

表 1. Dell EMC PowerEdge T140 システムの寸法

Xa	Xb	Ya	Yb	Za	Zb	Zc
175 mm ( 6.89 インチ )	該当なし	360 mm (14.17 インチ)	362.9 mm ( 14.29 インチ )	ベゼル込み : 35.0 mm( 1.38 インチ )	400.0 mm ( 15.75 インチ )	418.75 mm( 16.49 インチ )

Xa	Xb	Ya	Yb	Za	Zb	Zc
				ベゼルなし : NA		

## システムの重量

表 2. Dell EMC PowerEdge T140 システムの重量

システム構成	最大重量 (すべてのドライブを含む)
3.5 インチ ドライブ 4 台	11.84 kg ( 26.10 ポンド )

## プロセッサの仕様

表 3. Dell EMC PowerEdge T140 のプロセッサの仕様

サポートされるプロセッサ	サポートされているプロセッサ数
インテル Xeon プロセッサ E-2200 製品ファミリー インテル Core i3 9100 プロセッサ インテル Pentium G5420 プロセッサ インテル Celeron G4930 プロセッサ Intel Xeon プロセッサ E-2100 製品ファミリー Intel Core i3 8100 プロセッサ Intel Pentium G5500 プロセッサ Intel Celeron G4900 プロセッサ	1 回

## PSU の仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、AC ケーブル接続電源供給ユニット ( PSU ) を 1 台のみサポートしています。

表 4. Dell EMC PowerEdge T140 の PSU の仕様

PSU	クラス	熱消費 ( 最大 )	周波数	電圧	AC		DC	現在
					高圧線 100 ~ 240 V	低圧線 100 ~ 140 V		
365 W AC	Gold	1908 BTU/時	50/60 Hz	100 ~ 240 V AC、オートレンジ	365 W	該当なし	該当なし	5 A

① メモ: 熱消費は PSU のワット定格を使用して算出されています。

① メモ: このシステムは、相間電圧が 240 V 以下の IT 電力システムに接続できるようにも設計されています。

## 冷却ファンの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システム、次のようにファンをサポートしています。

- ・ システム背面にあるシステム冷却ファン 1 台。
- ・ ヒートシンク上にあるプロセッサ冷却ファン 1 台。

① メモ: システム構成を選択またはアップグレードする場合は、最適な電力使用を達成できるように、[Dell.com/ESSA](https://www.dell.com/ESSA) で入手できる [Dell Energy Smart Solution Advisor](#) でシステムの電力消費量を検証します。

# システム バッテリの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、CR 2032 3.0-V リチウムコイン型システムバッテリーをサポートしています。

# 拡張カードの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、最大 4 基の PCI express ( PCIe ) Generation 3 をサポートします。

表 5. システム基板でサポートされる拡張カード スロット

PCIe スロット	プロセッサの接続	PCIe スロットの高さ	PCIe スロットの長さ	スロット幅
スロット 1 ( Gen3 )	プロセッサ	フルハイト	ハーフレンジス	x8 スロットで x8 リンク
スロット 2 ( Gen3 )	プロセッサ	フルハイト	ハーフレンジス	x16 スロットで x8 リンク
スロット 3 ( Gen3 )	プラットフォームコントローラハブ	フルハイト	ハーフレンジス	x1
スロット 4 ( Gen3 )	プラットフォームコントローラハブ	フルハイト	ハーフレンジス	x8 スロットで x4 リンク

①メモ: 拡張カードはホットスワップ対応ではありません。

# メモリの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、動作を最適化するために次のメモリ仕様をサポートしています。

表 6. メモリの仕様

DIMM のタイプ	DIMM のランク	DIMM の容量	最小 RAM	最大 RAM
UDIMM	シングルランク	8 GB	8 GB	32 GB
		16 GB	16 GB	64 GB
	デュアルランク	8 GB	8 GB	32 GB
		16 GB	16 GB	64 GB

# ストレージコントローラの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、次のコントローラ カードをサポートしています。

表 7. Dell EMC PowerEdge T140 システム コントローラ カード

内部コントローラ	外部コントローラ
<ul style="list-style-type: none"><li>PERC H730P</li><li>PERC H330</li><li>HBA330</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>12Gbps SAS Ext.HBA</li></ul>

# ドライブの仕様

## ドライブ

Dell EMC PowerEdge T140 システムは次をサポートしています。

- 3.5 インチ SAS、または SATA ドライブ 4 台

①メモ: ドライブ容量が 4 TB 以上のシステムでは、温度制御に PERC が必要です。

## オプティカルドライブ

Dell EMC PowerEdge T140 システム次の光学ドライブをサポートしています。

表 8. サポートされる光学ドライブタイプ

サポートされるドライブタイプ	サポートされるドライブ数
専用 SATA DVD-ROM ドライブまたは DVD+/-RW ドライブ	1回

## ポートおよびコネクタの仕様

### USB ポートの仕様

表 9. Dell EMC PowerEdge T140 システムの USB ポートの仕様

前面パネル	背面パネル	内蔵 USB
<ul style="list-style-type: none"><li>USB 3.0 対応ポート 1 個</li><li>iDRAC Direct 用 Micro USB 2.0 対応ポート 1 個</li></ul> <p>①メモ: micro USB 2.0 対応ポートは、iDRAC Direct または管理ポートとしてのみ使用可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>USB 3.0 対応ポート 2 個</li><li>USB 2.0 対応ポート 4 個</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>1x 内蔵 USB 3.0 対応ポート</li></ul>

### USB ポートの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、背面パネルにある 10/100/1000 Mbps ネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) ポートを最大 2 基サポートしています。

### シリアル ネクタの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、背面パネルでシリアル コネクタ 1 個をサポートしており、このコネクタは、9 ピンコネクタ、DTE (データ端末装置)、16550 準拠です。

### VGA ポートの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、システムの背面にある 1 つの 15 ピン VGA ポートをサポートします。

①メモ: 前面 VGA ポートは、ラック構成でのみ使用できます。

## ビデオの仕様

Dell EMC PowerEdge T140 システムは、容量 16MB の Matrox G200eR2 グラフィックス カードをサポートしています。

表 10. サポートされているビデオ解像度のオプション

解像度	リフレッシュレート	色深度 (ビット)
640x480	60、70	8、16、24
800x600	60、75、85	8、16、24
1024x768	60、75、85	8、16、24

解像度	リフレッシュレート	色深度 (ビット)
1152x864	60、75、85	8、16、24
1280x1024	60、75	8、16、24

## 環境仕様

① **メモ:** 環境証明の詳細については、「マニュアルおよび文書」にある『<2>Product Environmental Datasheet</2>』を参照してください。

表 11. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40 ~ 65°C ( -40 ~ 149°F )
継続動作 ( 高度 950 m ( 3117 フィート ) 未満 )	10 ~ 35°C ( 50 ~ 95°F )、装置への直射日光なし。
外気	外気の詳細については、「 <a href="#">拡張動作温度</a> 」の項を参照してください。
最大温度勾配 ( 動作時および保管時 )	20°C/h ( 68°F/h )

表 12. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 33°C ( 91°F ) で相対湿度 5 ~ 95%。 空気は常に非結露状態である必要があります。
動作時	最大露点 29 °C ( 84.2 °F ) で 10 ~ 80% RH。

表 13. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 G <sub>rms</sub> ( 5 ~ 350 Hz ) ( 全稼働方向 )
ストレージ	1.88 G <sub>rms</sub> ( 10Hz ~ 500 Hz ) で 15 分間 ( 全 6 面で検証済 )

表 14. 最大衝撃パルス仕様

最大衝撃パルス	仕様
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、11 ミリ秒以下で 6 G。
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス ( システムの各面に対して 1 パルス )、2 ミリ秒以下で 71 G。

表 15. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3,048 m ( 10,000 ft )
ストレージ	12,000 m ( 39,370 フィート )

表 16. 動作時温度ディレーティングの仕様

動作時温度ディレーティング	仕様
最高 35 °C ( 95 °F )	950 m ( 3,117 フィート ) を越える高度では、最高温度は 300 m ( 547 フィート ) ごとに 1°C ( 1°F ) 低くなります。
35 ~ 40°C ( 95 ~ 104°F )	950 m ( 3,117 フィート ) を越える高度では、最高温度は 175 m ( 547 フィート ) ごとに 1°C ( 1°F ) 低くなります。
40 ~ 45°C ( 104 ~ 113°F )	950 m ( 3,117 フィート ) を越える高度では、最高温度は 125 m ( 547 フィート ) ごとに 1°C ( 1°F ) 低くなります。

## 標準動作温度

表 17. 動作時の標準温度の仕様

標準動作温度	仕様
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F)、装置への直射日光なし。

## 動作時の拡張温度

表 18. 動作時の拡張温度の仕様

動作時の拡張温度	仕様
継続動作	<p>相対湿度 5% ~ 85%、露点温度 29°C で、5°C ~ 40°C。</p> <p>① <b>メモ:</b> 標準動作温度 (10°C ~ 35°C) の範囲外では、下限 5°C、上限は 40°C までで、システムの継続動作が可能です。</p> <p>35°C ~ 40°C の場合、950 m (3,117 フィート) を超える場所では 175 m 上昇するごとに最大許容温度を 1°C 下げます (319 フィートごとに 1°F)。</p>
年間動作時間の 1 パーセント以下	<p>相対湿度 5% ~ 90%、露点温度 29°C で、-5°C ~ 45°C。</p> <p>① <b>メモ:</b> 標準動作温度範囲 (10°C ~ 35°C) 外で使用する場合は、下限は -5°C、上限は 40°C までで、年間動作時間の最大 1% にわたって動作することができます。</p> <p>40°C ~ 45°C の場合、950 m (3,117 フィート) を超える場所では 125 m 上昇するごとに最大許容温度を 1°C 下げます (228 フィートごとに 1°F)。</p>

① **メモ:** 拡張温度範囲で動作させると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。

① **メモ:** 拡張温度範囲でシステムを使用しているときには、システム イベント ログに周囲温度の警告が報告される場合があります。

## 動作時の拡張温度範囲に関する制限

- ・ 5°C 未満ではシステムのコールド ブートを行わないでください。
- ・ 動作温度は最大高度 3048 m (10,000 フィート) を想定しています。
- ・ 1 台の非冗長電源装置ユニットが必須です。
- ・ 1 台のシステム ファンが必須です。
- ・ デル認定外の周辺機器カードおよび / または 25 W を超える周辺機器カードは非対応です。
- ・ GPU は非対応です。
- ・ テープ バックアップ ユニットのサポートされません。
- ・ ドライブ容量が 4 TB 以上のシステムでは、温度制御に PERC が必要です。

## 粒子状およびガス状汚染物質の仕様

次の表は、粒子状およびガス状汚染物による IT 装置の損傷および / または故障を避けるために役立つ制限を定義しています。粒子状またはガス状の汚染物質物のレベルが指定された制限を超え、その結果として機器が損傷または故障した場合は、環境条件の是正が必要になる可能性があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。

表 19. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。

粒子汚染	仕様
	<p>① <b>メモ:</b> この条件は、データセンター環境にのみ適用されます。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。</p> <p>① <b>メモ:</b> データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。</p>
伝導性ダスト	<p>空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。</p> <p>① <b>メモ:</b> この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>
腐食性ダスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。</li> <li>空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。</li> </ul> <p>① <b>メモ:</b> この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>

表 20. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーポン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーポン腐食度	AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。

① **メモ:** 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

## 温度に関する制限のマトリックス

表 21. 温度に関する制限のマトリックス

周囲	25°C	30°C	35°C
プロセッサ	制限なし	制限なし	制限なし
DIMM	制限なし	制限なし	制限なし
ドライブ	制限なし	制限なし	制限なし
カード	制限なし	制限なし	制限なし

## システム診断とインジケータコード

システムの前面パネルにある診断インジケータには、システム起動時にシステムステータスが表示されます。

**トピック：**

- ・ システム正常性とシステム ID インジケータコード
- ・ NIC インジケータコード
- ・ 非冗長ケーブル接続式電源装置ユニットのインジケータコード
- ・ PowerEdge T140 システムの診断

### システム正常性とシステム ID インジケータコード

システム正常性およびシステム ID インジケータは、お使いのシステムの前面パネル上にあります。

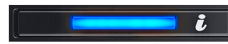


図 4. システムの正常性とシステム ID インジケータ

表 22. システム正常性とシステム ID インジケータコード

システムの正常性とシステム ID インジケータコード	状態
青色に点灯	システムがオンにするには、システムが正常に電源が入っていること、およびシステム ID を示します。モードはアクティブでない。システムの正常性とシステム ID ボタンのシステム ID モードに切り替えます。を押します。
青色の点滅	システム ID のモードがアクティブであることを示します。システムの正常性とシステム ID ボタンは、システムの正常モードに切り替えます。を押します。
橙色に点灯	システムがフェイルセーフモードに失敗したことを示します。問題が解決しない場合は、「困ったときは」の項を参照してください。
橙色に点滅	システムが、障害が発生していることを示します。特定のエラーメッセージについては、システム イベント ログを確認してください。

### NIC インジケータコード

システムの背面にある各 NIC には、動作およびリンク状態に関する情報を提供するインジケータがあります。アクティビティ LED インジケータは、データが NIC から流れているかどうかを示します。リンク LED インジケータは、接続されているネットワークの速度を示します。

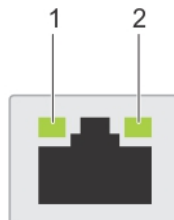


図 5. NIC インジケータコード

1. リンク LED インジケータ
2. アクティビティ LED インジケータ

表 23. NIC インジケータコード

ステータス	状態
リンクおよびアクティビティ インジケータが消灯している。	NIC がネットワークに接続されていません。
リンク インジケータは緑色で、アクティビティインジケータは緑色の点滅です。	NIC は、最大ポート速度において、有効なネットワークに接続されており、データを送信中または受信中であることを示します。
リンク インジケータはオレンジ色で、アクティビティインジケータは緑色の点滅です。	NIC は最大ポート速度未満で有効なネットワークに接続されており、データは送信中または受信中であることを示します。
リンク インジケータは緑色で、アクティビティインジケータは消灯しています。	NIC は、最大ポート速度において、有効なネットワークに接続されており、データは送信中または受信中でないことを示します。
リンク インジケータはオレンジで、アクティビティインジケータは消灯しています。	NIC は、最大ポート速度未満で有効なネットワークに接続されており、データは送信中または受信中でないことを示します。
リンク インジケータは緑色に点滅して、アクティビティは消灯しています。	NIC 識別は、NIC 設定ユーティリティを介して有効化されます。

## 非冗長ケーブル接続式電源装置ユニットのインジケータコード

自己診断ボタンを押すと、システムの非冗長ケーブル接続式電源装置ユニット (PSU) のクイック正常性検査が実行されます。

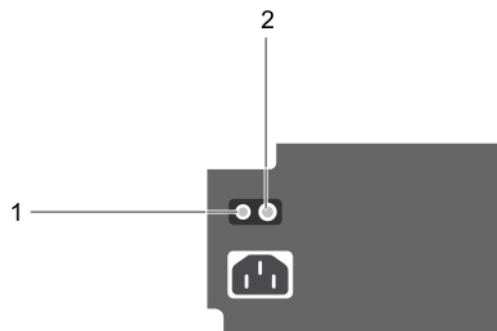


図 6. 非冗長ケーブル接続式 AC PSU のステータスインジケータと自己診断ボタン

1. 自己診断ボタン
2. AC PSU ステータスインジケータ

表 24. 非冗長 AC PSU のステータスインジケータ

電源インジケータのパターン	状態
消灯	電源が接続されていないか、または PSU が故障しています。
緑色	有効な電源が PSU に接続されているか、PSU が動作中です。

## PowerEdge T140 システムの診断

システムに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前にシステム診断プログラムを実行してください。システム診断プログラムを使うと、特別な装置を使用せずにシステムのハードウェアをテストでき、データが失われる心配もありません。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

# Dell 組み込み型システム診断

① | **メモ:** Dell 組み込み型システム診断は、**Enhanced Pre-boot System Assessment ( ePSA )** 診断としても知られています。

組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- ・ テストを自動的に、または対話モードで実行
- ・ テストの繰り返し
- ・ テスト結果の表示または保存
- ・ 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- ・ テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- ・ テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

## 起動マネージャからの組み込み型システム診断プログラムの実行

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム ( ePSA ) を実行します。

1. システムの起動中に、F11 を押します。
2. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、**System Utilities ( システムユーティリティ ) > Launch Diagnostics ( Diagnostics ( 診断 ) の起動)** と選択します。
3. または、F10 を押して、システムが起動したときに選択します。 **ハードウェア診断を > 実行** します。ハードウェア診断を押します。  
ePSA Pre-boot System Assessment ( ePSA 起動前システムアセスメント ) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics ( 診断 ) が検知された全デバイスのテストを開始します。

## Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行

1. システム起動中に F10 を押します。
2. **Hardware Diagnostics ( ハードウェア診断 )** → **Run Hardware Diagnostics ( ハードウェア診断の実行 )** を選択します。  
ePSA Pre-boot System Assessment ( ePSA 起動前システムアセスメント ) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics ( 診断 ) が検知された全デバイスのテストを開始します。

## システム診断プログラムのコントロール

メニュー	説明
設定	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
結果	実行された全テストの結果が表示されます。
システム正常性	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
イベントログ	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも1つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

## 困ったときは

### トピック：

- ・ リサイクルまたはサービス終了の情報
- ・ デルへのお問い合わせ
- ・ QRL によるシステム情報へのアクセス
- ・ SupportAssist による自動サポートの利用

## リサイクルまたはサービス終了の情報

特定の国では、この製品の引き取りおよびリサイクル サービスが提供されます。システム コンポーネントを廃棄する場合は、にアクセスし、該当する国を選択します。

## デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. にアクセスします。
2. お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
3. カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
  - a) **サービスタグを入力** フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
  - b) **送信** をクリックします。  
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
4. 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
  - a) 製品カテゴリを選択します。
  - b) 製品セグメントを選択します。
  - c) お使いの製品を選択します。  
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
5. Dell グローバルテクニカルサポートへのお問い合わせ先詳細：
  - a) をクリックします。
  - b) **Contact Technical Support (テクニカルサポートに連絡)** ページには、Dell グローバルテクニカルサポートチームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

## QRL によるシステム情報へのアクセス

T140 の前面にある情報タグに記載されている Quick Resource Locator ( QRL ) を使用して、Dell EMC PowerEdge の T140 に関する情報にアクセスできます。

お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ・ ハウツービデオ
- ・ インストールおよびサービス マニュアル、機械的概要などの参照資料
- ・ 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービスタグ
- ・ テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク

1. にアクセスして、お使いの製品に移動する、または
2. システム上、または「クイックリソースロケータ」セクションで、お使いのスマートフォンまたはタブレットを使用してモデル固有のクイックリソース ( QR ) コードをスキャンします。

# Dell EMC PowerEdge T140 システム用 Quick Resource Locator



図 7. Dell EMC PowerEdge T140 システム用 Quick Resource Locator

## SupportAssist による自動サポートの利用

Dell EMC SupportAssist は、Dell EMC のサーバ、ストレージ、ネットワーク デバイスのテクニカル サポートを自動化するオプションの Dell EMC Services です。SupportAssist アプリケーションをインストールしてご利用の IT 環境にセットアップすると、次のようなメリットがあります。

- ・ **自動課題検知**—SupportAssist により、ご利用の Dell EMC デバイスを監視し、プロアクティブかつ予測的にハードウェアの課題を自動検知します。
- ・ **ケースの自動作成**— 課題が検知されると、SupportAssist によって Dell EMC テクニカル サポートへのサポート ケースが自動的に開きます。
- ・ **自動診断収集**— SupportAssist により、ご利用のデバイスからシステム状態に関する情報を自動的に収集し、Dell EMC に安全にアップロードします。この情報は、Dell EMC テクニカル サポートによる、課題のトラブルシューティングに使用されます。
- ・ **プロアクティブな連絡**— Dell EMC テクニカル サポート エージェントがサポート ケースについて連絡し、課題を解決するお手伝いをします。

使用可能なサービスは、お使いのデバイス用に購入した Dell EMC Service の利用資格に応じて異なります。SupportAssist の詳細については、を参照してください。

## 安全にお使いいただくために

- ① **メモ:** システムを持ち上げる必要がある場合は、誰かの手を借りてください。けがを防ぐため、決してシステムを1人で持ち上げようとししないでください。
- ⚠ **警告:** システムの電源が入っている状態でシステムカバーを開いたり取り外したりすると、感電するおそれがあります。
- ⚠ **注意:** システムは、カバー無しで5分以上動作させないでください。
- ⚠ **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。Dellの許可を受けていない保守による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。
- ① **メモ:** システム内部のコンポーネントでの作業中は、静電マットと静電ストラップを常に使用することをお勧めします。
- ① **メモ:** 正常な動作と冷却を確保するため、システム内のすべてのベイおよびシステムファンにコンポーネントまたはダミーのいずれかを常時装着しておく必要があります。